



火の柱

Friends of Jesus 2022.3 第730号

イエスの友五綱領

- ①イエスにありて敬虔なること
- ②貧しき者の友となりて労働を愛すること
- ③世界平和のため努力すること
- ④純潔なる生活を尊ぶこと
- ⑤社会奉仕を旨とすること

イエスの友会は、上の五綱領を、生き方の基盤としているキリスト者と賛同者の群れです。(結成1921年10月5日)

特集『支部が拠点となって活動の充実を図る』 1P 鈴木武仁「イエスの友会支部再生は可能か」 2P 笠井賢哲「世界平和と世界連邦運動のために」伊藤地塩「白髪は老人のあかし」 2, 3P 「神の力強い御手の下で」及川健治 3, 4P 「春期聖修会報告」他

イエスの友会

支部再生は可能か

イエスの友会会長 鈴木武仁



賀川豊彦師

イエスの友会の歴史は、賀川豊彦の宣教活動と共にあった。賀川先生を愛し、敬い、協力する多くの同志が集ってきた、その中核がイエスの

友会であった。おのずから支部活動も活発化し、東京だけでも二十数か所の支部があったこともあるし、海外にも支部は沢山できた。教派を問わず宣教に励む同志たちは、ビジョンを持っていた。平和の実現する神の国の如き世界であり、その基礎として協同組合運動に徹し、世界連邦運動にも励んだ。「預言者学校」を創るべき政治家の輩出まで折り求めた。そして多くのキリスト教政治家が生まれ出した時代もあった。それは華々しく、躍動する運動体であった。

武藤富男兄などは参議院戦に打って出て「日本キリスト党」を立ち上げた。山崎宗太郎兄などイエスの友会を代表する人物がその党の運営の責任を担ったこともあった。武藤富男兄にある週刊誌は、瘦せた馬のロシナンテに乗って悪魔と勘違いした「風車めがけて突進する《ドン・キホーテ》」と揶揄する記事を書いた。選挙の結果は落選であった。代議士を務めた長谷川保兄の秘書をしていた遠藤正一兄もまた武藤富男兄のように衆議院選に立候補したが結果は落選した。しかし昨年の

衆議院選で息子の良太兄が兵庫県から立候補しその屈辱を晴らし、当選したのは快挙であった。

『ドン・キホーテ』は、スペインが誇る傑作であるがその作家はセルバンテス（一五四七—一六一六）であったが、ドン・キホーテと従者サンチョ・パンサの関係は、賀川豊彦兄と武藤富男兄の関係でもあったのかもしれない。サンチョ・パンサは、従者の鑑（かがみ）のようで、忠実、率直で誠実で、豊かな教養と法的知識を引き合いに喋りまくる愉快な人物だった。賀川先生こそ、そんな武藤兄弟をサンチョとしてかわいがったドン・キホーテであったように思えてならない。セルバンテスと言えば、スペインのマドリッドから東三十キロは離れたところにあるアルカラ・デ・エナレスで生まれ、サンタ・マリア教会で洗礼を受けた。彼の父母はキリスト教に改宗したユダヤ人ではないかとの研究もあるが、この都市の背景を見ると十二世紀にはユダヤ人街があり、十五世紀には二百家族のユダヤ人が住んでいたようだ。一四九二年にアルハンブラ勅令が出て、住み続けるのはカトリックに改宗するしかなく、拒めば追放された。セルバンテスは、スペインの陽気さと搾りたての葡萄酒とスペイン料理に舌打ちしながら世界を変えていくビジョンに満ちたドン・キホーテという人物像を見ていたのであろう。

このビジョンを見る者がイエスの友会の同志たちであり、彼らによつてつくられた支部であるならそれはいつでも活性化するのである。日本のキリスト教会は『限界集落』化しているとも言われるが、

今度のコロナ騒動を通して教会の教勢は低迷し抜き差しならぬ臨界点にまで達している。と危機感を指摘する論者もいるが、幻を持つ青の空色と黄色の麦畑のスカーフを首に巻き平和を望むドン・キホーテ達が次々に生まれ出て来るならば、希望の陽は昇ってくるであろう。大阪支部、東京支部、三河支部、浜松支部などの麻痺していた末梢神経的支部が動き出し、立ち上がりだしたのはエゼキエル書二十八章の枯骨の谷の復活の如きに見えるのも神の啓示であるのだろうか。枯れたる骨たちよ、神の言葉を聞け！ 命宿れば骨は動き、筋が生じ、皮膚が覆い、望みなく滅びると叫んだ者の声も虚しく、ユダとヨセフの二本の木は一つとなり、イスラエルは喜び、全家は分かれることなくシオンの地に帰る。ブラジルの支部たち、ロスアンゼルス支部よ、こぞつてシオンに立とう。

ミュージカル『ラマンチャの男』のセリフをセルバンテス役の松本幸四郎が告げる。「人生自体が気狂いだしたら、では一本本当の狂気とは何だ。夢におぼれて現実を見ない者も狂気かもしれない。現実のみを追って夢を持たぬ者も狂気かもしれない。だが一番憎む狂気とは、あるべき姿のために戦わぬことだ。セルバンテスは階段を一步一步上りながら「おお、神よ！ 救いたまえ、ドン・キホーテとセルバンテス、二人ともラマンチャ地方の男です」と答えながら幕となっていく。今ではスペインは風力発電国となつて再生可能エネルギーの実用化に励んでいる。時代を洞察し、被造物全体を神の国の支部

として、聖霊の息吹を注ぐイエスの友でありたい。

世界の平和と世界連邦運動のために

笠井 賢哲

(元)世連同盟本部職員・世界連邦平和省クリスチャン基金世話人 現、日本福音教団聖都教会水元中央教会協力牧師

ハレルヤ、この度は私にとつて湯河原のセミナーは2回目となりましたが、再度イエスの友会の同志の皆様にも再会でき心から感謝しています。

特に、ロングライフの遠藤代表のご息が衆議院議員に選任され、しばらく休眠していた国会報告会(祈祷会)も再開されるとの報告も受け、感謝しています。

さて、今回のセミナー会場となった千代田荘は以前、千代田区の施設ということで、私も千代田区のホームレス自立支援事業としての千代田寮に居た思い出も重なり、一筆取らしていただきました。

私が今もホームレス支援上野公園集会所を開いている東京愛宣教会協力牧師として家内李奉子宣教師とともに奉仕していた間、その本部教会は九段下に4階ビルを構え、黄パウロ牧師が運営されていた時、暫し、その四谷、市ヶ谷駅間に設置され、私も一時そこで寄宿し、草刈り機等の技能講習を受けたり自立への努力を続けつつ、同宿者への伝道活動も励み、幾人かを教会に導いたりしたものである。

現在はその施設も他の施設に替わりつつありますが、その近くの四ツ谷駅のイグナチオ教会の鐘の音は今も変わらず鳴

らされ、朝のミサや毎金曜日の朝拝会も変わらず続けられているようです。

国会報告会は始め祈祷会として故西村関一議員室の会合に参加した思い出もあり、山川百合子議員代表世話人に替わってもさらに大きく飛躍前進されるようにと祈ります。

時あたかも、ロシア軍のウクライナ侵攻と世界大戦の火ぶたが切られた時、世界平和のため、キリスト教イスラム世界との融和、和解を含めた超教派エキュメニカル運動からさらに前進して世界連邦運動の前進のためにも祈り続けたいと思います。

白髪は老人のあかし

伊藤 地塩

今思えば、信仰生活とは日ごとに神から聖書を通し、聖霊によって与えられる「感謝と喜び」の証しです。

七月には95歳。昭和2年、浜松元城教会牧師館で、伊藤与雄(よしお)、初栄(はつさ)から兄益実と私誕生。父は美普教会(メソジスト)の年会があつて渡米、母と兄と私は祖父母の家(中京教会)で待ち、帰国後は熱田教会牧師、東京では麻布美普教会津川主一牧師(父の従兄弟)の後任に。

兄と私は港区等(こうがい)小学校卒業後、兄は明治学院中学部から神学専門学校へ。20歳で召集令状受け、豊分教会(現座の広尾)桑田秀延学長中心に壮行会新約聖書を胸ポケットに朝鮮海峡を渡って行く先は満州。大陸伝道を志願していた彼にとつては打って付け。

私は青山学院高等女学部から女子神学専門学校(渡辺善太校長 田園調布。入学

しても持ち物は聖書のみ。浅草橋の間屋街へわら半紙求め、新聞紙大のものの背中に背負って帰宅。八等分に切断。閉じてノートに。ところが、以後、勤労動員でヤナセ自動車工場へ出勤することになる。七月から毎日、30分の礼拝後、5時まで板金工の老齢の二人と共に、二百馬力の車の塗装、車のちようつがいのナッツのドリルでの穴あけ等、次第に仕事はなくなり、落ちたくぎ拾い、さび磨き、明日は霞ヶ浦へこの車に乗って行つてくれる処まで来たのに敗戦となり終了。

こうした日々の中、貴重な学びの一日がありました。

二千年前のハスを開花させた大賀一郎先生の講演。無教会の先生は私共に一粒のハスの実を分けてくださり、「人が人に頼つて何になる。ただ失望するだけ」と。

あの時から50年。去年府中市の中央公園の池に行き、その見事さに大賀先生の信仰とその熱意を学び続けよう。

余り遠方ですが、教会員と遠足気分で行かれたらいかがでしょう。去年、賀川梅子さん逝去と伺い残念です。引退教職にじのいえにもお立ち寄りください。

主にありて、主の平安を祈りつつ。

青梅市長 2の687の

にじのいえ信愛荘



神の力強い御手の下で

(浜松朝拝会 最終日奨励より) 及川 健治

「だから、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。そうすれば、かの時には高めていただけます。思い煩いは何もかも神にお任せしなさい。神が、あなたがたのことを心に掛けてくださるからです。」

ペトロの手紙5章6、7節

2022年2月24日、ロシア軍がウクライナに軍事侵攻を始めてから、ちょうど2週間が経ちました。既に両軍兵士だけでなく、ウクライナ国内の幼い子供たちを含む民間人にも多くの死傷者が出ており、連日その数が増えています。ウクライナ国内の飛行場はロシア軍の空爆で使えなくなり、5か所ある原子力発電所も制圧されました。首都キエフや第2の都市ハリコフへの攻撃も激しさを増し、多くの人々が難民となって国外へ避難し、彼らは寒さと飢えで苦しみながら生活しています。ロシア軍を動かすプーチン大統領は攻撃の手をゆるめず、核兵器の使用もちらつかせながら、8年前に発生したクリミア侵攻と同じようにウクライナを強制併合しようとしています。もっと言えば米国バイデン大統領や、NATO(北大西洋条約機構)の国々を巻き込み、全世界を恐怖と世界戦争へと誘おうとしているのです。

このような時にこそ、信仰者の祈りが必要です。カトリック教皇フランシスコはバチカンから2月23日(戦争を止めよと呼びかけた時)に、3月2日の灰の水曜日に、カトリック信徒である、ないにか

かわらず、祈りと何がしかの節制を呼びかけました。そしてそれは、現在も継続されており、教皇は現在数名の幹部と共に、祈りと黙想を続けています。

今日、このような時に、神様がわたしたちに求めておられるのは、まず第一に「神の力強い御手の下で自分を低くすること」です。それが、祈る者に何よりも必要な要素である「謙遜」ということです。

アンドリュー・マレー師は「謙遜」について、それは「あがないの愛の圧倒的な大きさのうちに、私たちが自分自身を失うとき、謙遜が永続する幸いと神への賛美を完成する」と書きました。『謙遜』は、「御霊の実を入れるための籠(かご)である」と説明しました。第一ペトロ5章5節の「謙遜を身につけなさい」とは、自分自身をイエス様に「しっかりと結びつける」ということです。

第二に、神様が私たちに求めておられるのは、「思い煩いは、何もかも神様にお任せしなさい」ということです。

「思い煩い」とは「自分に自分を結び付けている」ことです。絶えず、自分の力と知恵で生きようとするため首尾よくことが進めば高ぶるものになり、失敗すれば他者を裁くか、自分自身を責め、落ち込むのです。自分から自分を離してイエス様に結びつく方法はただ一つです。それは、自分が主であることをやめ、イエス様にしっかりと結びつけられることです。

イエス様ご自身も十字架上で「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください」(ルカ福音22章42節)と祈られ、自らを神様に結びつけられました。私はこの春、神学院を卒業してから25

年たちました。振り返れば、入信前はこんな思い煩いの塊のような者でした。なんとか続けてこられたのも、神様にお任せすることを喜びとなったからです。

第三のことは「神があなたがたのことを中心にかけてくださる」ということです。「神の力強い御手」と申し上げましたが、それは、イスラエルの民がエジプトの地から導き出されたことはもちろん、聖書のあらゆる所で記されていることです。その一つ一つは、神様が私たちのことを事細かく知っておられるからです。

「わたしたちが先祖の神、主に助けを求めると、主はわたしたちの声を聞き、わたしたちの受けた苦しみと労苦と虐げを御覧になり、力ある御手と御腕を伸ばし、大いなる恐るべきこととするしと奇跡をもつて、わたしたちをエジプトから導き出し、この所に導き入れて乳と蜜の流れるこの土地を与えられました。」申命記26章7〜9節

わたしたちは、今日、特に戦闘が続き、困窮するウクライナとそこから脱出した人たちの健康と生活が守られるように、力を合わせて祈りましょう。ちょうど3日前、ウクライナの首都、キエフ聖ソフィア大聖堂の北東にある聖ミハイル修道院の上空が曇っているにもかかわらず、白い十字架が三日間で二度現れたとボスニア・ヘルツゴビナ系メディアが伝えました。これが何を意味しどんな結果になるかは現地点ではわかりませんが、神様はご自身のなさり方で考えもしなかったことをなさるお方です。もちろん、わたしたち個々人とお互いのためにも祈り、浜松朝教会を祝福のうちに終えましょう。

イエスの友会春期聖修会の報告

2022年2月21日(月)から22日(火)にかけて神奈川県湯河原千代田荘において、従来の中央委員会のみが集まりから、今年はじめて、春期聖修会と銘打って、集まりをもちました。参加者は、14名(男性12名、女性2名)でした。開会礼拝は、講師の体調不良により、事務局は代役で奉仕をさせていただきました。第一コリント13章13節から「信仰、希望、愛に生きる」と題して奨励をさせていただきました。今回の目玉は、賀川豊彦・ハルゴ夫妻

の、牧師となり、ミッションスクールでの聖書の授業や、刑務所での教戒師の奉仕など、不思議な神さまの導きにしがたつて生きた姿に、ひきつけられました。締めは事務局補佐の及川健治さんにミカ書6章8節「人よ、何が善であり主が何を前求めておられるかは前前に告げられている。正義を行い、慈しみを愛しへりくだつて神と共に歩むこと、これである」から、開会礼拝の奨励をいただきました。はじめての春期修養会は、主の恵みあふれるひと時となりました。(高島史弘)



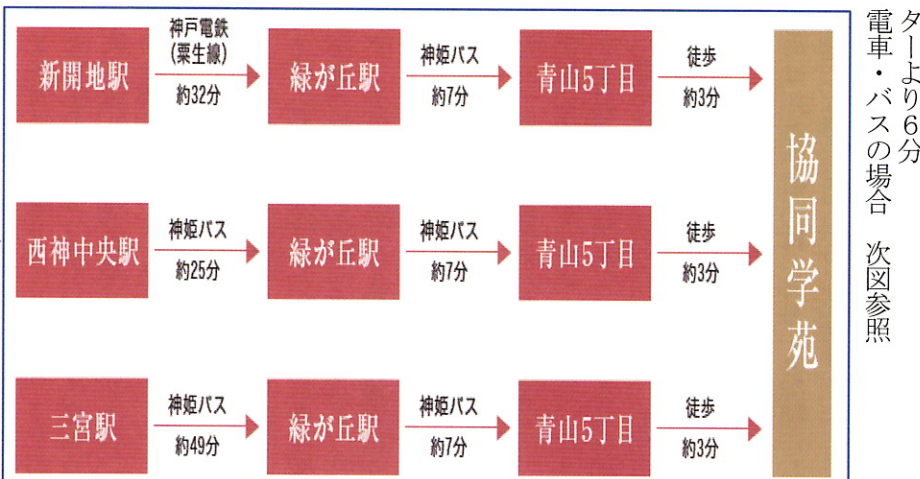
2022年度 第97回 イエスの友会 夏期聖修会 開催のご案内

テーマ 綱領 『貧しき者の友となりて、労働を愛すること』
聖書 ヨハネ15章13節「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」

日時 2022年7月18日(月)～20日(水)

会場 コープ協同学苑 〒673-0521 兵庫県三木市志染町青山7丁目1-4
Tel. 0794-8555500

アクセス 山陽自動車道 三木東インターより6分
電車・バスの場合 次図参照



日程・プログラム 7月18日(月) 第1日目

13:00 受付開始
14:00～15:00 開会礼拝
(ホール) 奨励: 鈴木武仁
司会: 金子信一

15:30～17:00 基調講演
『賀川豊彦と労働』 講師: 小原克博
(同志社大学神学部部長・神学科科長)
司会: 高島史弘

17:30～18:30 夕食
参加者より一言

19:00～20:30 賛美と証の夕べ
奉仕: ラスボーザ等 司会: 金正護

7月19日(火) 第2日目
7:00～7:40 早天集会
奨励: 小野島正彰
朝食

8:00～9:00 参加者より一言
部屋の荷物の片づけ移動

10:00～12:00 聖書講演会
『信仰と仕事』 講演: 東海林昭雄
司会: 長谷川勝義

12:00～13:00 昼食
各支部報告

13:00～15:00 賀川資料室見学と
別棟研修室と資料館に2グループで
交互に見学と視聴

15:30～17:00 イエスの友会中
央委員会(大会) 研修室 司会: 事務局

17:30～18:30 夕食
参加者より一言

19:00～20:30 ゴスペル落語
小笠原浩一『賀川豊彦・ハル物語』
『罪ゆるされた女』 他

7月20日(水) 第3日目
7:00～7:40 早天集会
奨励: 金子信一
朝食

8:00～9:00 参加者より一言
部屋の荷物の片づけ移動

10:00～11:20 活動報告会
(別棟研修室) 司会: 事務局
11:30～12:00 閉会礼拝
奨励: 長谷川勝義 司会: 及川健治

12:00～13:00 昼食
片付け・解散

・費用 宿泊費 原則1人一部屋一律4
900円×2泊9800円
食事 朝食650円×2食1300円
昼食750円×2食1500円
夕食1100円×2食2200円

計5000円 参加費会員1日千円×
3で3000円(会員外一日千五百円)
総参加費会員17800円(会員外19
300円)

・申込方法: 参加費の振込をもって申し込
みとする。
・申込締切: 2022年7月4日(月)

最近のイエスの友会支部活動の様子

東京支部 2021年12月25日
クリスマス会 於 葛蒲教会
クリスマス礼拝と交わり

大阪支部 2022年1月10日
於 大阪クリスチャンセンター
支部再開発式 支部長として脇田眞一
師が任命されました。

愛知三河支部 2022年3月7日
於 岡崎アッセンブリー神召教会
奨励 高島史弘 5名参加

浜松支部 2022年3月11日
於 遠州キリスト教会 長谷川保読書
会『一粒の麦』を読んで話し合う。8名

このように各地で活動が始まっています。全
国の支部再開のために本部から応援支援を
します。

【2021年度会計報告】

《2021年12月以降2022年3月迄
の状況》

◎維持費(一万二千円) 三名(伊藤地塩、高
島史弘、吉本真理)

◎会費(三千円) 十一名(岩倉正美、伊藤地塩
岡田渥子、細和男、木下宣世、鮫島紘一、高
島史弘、吉本真理、亀島英城、渡邊和郎、市
村和夫)

◎感謝献金四名(伊藤地塩、足立克己、及川
健治、吉本真理)

◎クリスマス献金六名(稲木聰子、宮原亨、
岩倉正美、岡田渥子、鈴木武仁、伊藤地塩)

◎購読料(千五百円) 三名(李善恵、岡田渥
子、伊藤地塩)

◎登録料(五百円) 一名(伊藤地塩)
◎百周年記念特別献金三名(伊藤地塩、鮫島
紘一、吉本真理)

◆会費納入と献金のお願い◆
尊い献金と会費等でイエスの友会の活動をお
支え下さり、イエス様にあつて感謝いた
します。

▽たくさんの方から会費や献金をいただき
ました。感謝します。引き続き、各事業活動
の費用のための会費や献金をお願いしま
す。会費、献金、維持費、購読料等の振込
先は、次のとおりです。

▼郵便振替口座 〇〇一七〇七四九五
八六 加入者名「イエスの友会本部」
(会計担当 小野島正彰)

新入会員 2022年3月15日
高島リリアン(三河支部 推薦 長谷川)

「火の柱」第30号
発行人 鈴木武仁
発行所 イエスの友会本部
発行日 2022年3月31日
本部事務局

441-8016 愛知県豊橋市弥生町西豊和4
7 高島史弘(イエスの友会 事務局長)

携帯 06006495160

メール takashima.m633@japan.email.ne.jp

郵便振替加入者名「イエスの友会本部」
口座番号 〇〇17074010089

火の柱編集 長谷川勝義
火の柱原稿メール先 bwp58@xi.commu.jp
〒440-0026 愛知県豊橋市多米西町2-20
12 電話 FAX 0532611-4822